



夏休み親子スマイル教室



今年の夏休み親子スマイル教室は、ひのみね総合療育センターの郡 千春作業療法係長をお招きし「手の動きを促そう」をテーマに、講演と演習形式で学びました。当日は9組の親子が参加されました。「手のマッサージを教えてください」、「子どもに合った刺激の入れ方を教えてください」等、たくさんの質問が寄せられ、それに対して郡作業療法係長が丁寧に1つ1つ答えてくれました。講義では「遊びは子どもの栄養。子どもにとっては自分で経験するすべてが遊びといってもよい。子どもは、自分自身の身体の動きに伴う感覚・運動経験を楽しみながらさまざまなことを経験、獲得していく。」というお話をうかがいました。

その後、身近にあるもので触っておもしろい、振動遊びが体験できるグッズを紹介していただきました。携帯電話や電動歯ブラシ（柄が振動するタイプの物）がその1つでした。手に過敏があるお子さんの場合、その子が受け入れやすい身体の部位を探して刺激してあげると、より心地よく楽しむことができます。その他、足で振動を感じさせて、徐々におなかへと位置を変えていく等も遊びにバリエーションをつける1つであり、膝の骨が出っ張っている所に携帯電話をあてると、振動がダイレクトに伝わっておもしろさが増すそうです。一度試してみてもおもしろいかもしれませんね。



夏季公開研修



鴨島病院作業療法士江本純造先生による「不器用なお子さんへの支援」と題した講演が行われました。本校職員のみならず、小・中学校や幼・保の教職員の方々にもオンライン（Zoom）配信にて参加していただきました。「こんな子いませんか？」と、いろいろなタイプの不器用なお子さんへの関わり方、支援の手段・内容について、様々な支援ツールや教材の紹介をしながらとても丁寧に解りやすくお話していただきました。「感覚の凹凸と学習」「姿勢と手の動き」「運筆について」という3つの項目の動作を、学習に効果が発揮しやすくなることを目標として、先生ご自身が実演してくださり、興味深く、たいへん有意義な研修を受けることができました。今後の指導に活かしたいと思います。



